



平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年8月8日

上場会社名 アキレス株式会社
コード番号 5142 URL <http://www.achilles.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 伊藤 守

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理本部長兼経営企画本部長 (氏名) 藤澤 稔

TEL 03-5540-9848

四半期報告書提出予定日 平成26年8月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	19,779	5.8	97	△31.3	163	△52.3	100	△57.8
26年3月期第1四半期	18,704	△1.4	141	△55.8	341	△26.2	237	40.5

(注)包括利益 27年3月期第1四半期 △41百万円 (—%) 26年3月期第1四半期 694百万円 (126.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	0.54	—
26年3月期第1四半期	1.28	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第1四半期	73,957	40,283	54.5	217.64
26年3月期	76,405	42,078	55.1	227.33

(参考)自己資本 27年3月期第1四半期 40,283百万円 26年3月期 42,078百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	円 銭	
26年3月期	—	0.00	—	3.00	円 銭	3.00
27年3月期	—	—	—	—	円 銭	—
27年3月期(予想)	—	0.00	—	4.00	円 銭	4.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	42,000	2.8	100	△85.0	200	△80.7	100	△84.1	0.54
通期	91,000	3.4	2,100	7.0	2,300	△9.7	1,500	△13.5	8.10

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期1Q	190,627,147 株	26年3月期	190,627,147 株
② 期末自己株式数	27年3月期1Q	5,531,082 株	26年3月期	5,530,674 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期1Q	185,095,994 株	26年3月期1Q	186,621,615 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続を行っております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における経済情勢は、国内は消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動は限定的であったものの、一部業種ではその影響が顕著となり荷動きに鈍さが残りました。海外は米国を中心として欧米圏経済の回復は続きましたが、ウクライナ情勢やイラクの混乱が長期化する様相を呈したことで、原油価格高騰による原材料価格への転嫁やエネルギーコストの上昇が進み、また円安の定着で輸入製品価格の高止まりが続きました。

このような事業環境の下、当社グループは企業価値の増大を目指して、ブランド力・魅力ある商品創りに注力するとともに省エネルギー関連製品、環境対応製品、スポーツ健康関連製品など成長分野と、インフラ整備、防災関連分野およびグローバル化へと積極的な事業展開を推進し、徹底したコストダウンに取り組んでまいりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高 19,779 百万円(前年同四半期比 5.8%増)、営業利益 97 百万円(前年同四半期比 31.3%減)、経常利益 163 百万円(前年同四半期比 52.3%減)、四半期純利益 100 百万円(前年同四半期比 57.8%減)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

<シューズ事業>

ジュニアスポーツシューズのトップブランド「瞬足」は、本年4月からの消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動による影響と天候不順の影響のため、主力のランニングカテゴリーが苦戦し、前年売上を下回りました。

高機能スーパークッション「ソルボ」を搭載した「アキレス・ソルボ」は婦人向け商品を中心にカジュアルなスタイルとカラー展開の提案が評価され、前年売上を上回りました。

シューズ事業全体としては、ブーツの好調もあり、前年売上を上回りました。

シューズ事業の当第1四半期連結累計期間の業績は売上高 3,941 百万円(前年同四半期比 3.1%増)、セグメント利益(営業利益)は△37 百万円(前年同四半期は 87 百万円)となりました。

<プラスチック事業>

車輻内装用資材は、国内市場において消費税率引き上げの影響が心配されましたが、大きな落ち込みは無く、世界的な自動車販売の回復もあり、前年売上を上回りました。

フィルムの国内事業は、一般用が堅調に推移したことに加え、海外向けの窓用透明フィルムや電材用も好調で前年売上を上回りました。北米事業では、文具用が堅調に推移し前年売上を上回りました。農業分野では、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動により、前年売上を下回りました。

建装資材の床材は、新商品投入により前年売上を上回りましたが、壁材は、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動を受け、前年売上を下回りました。

引布商品は、輸出用のポット製品およびポット用ゴム引き原反は好調に推移しましたが、国内向けのポット製品が前年の売上を下回ったことにより、ほぼ前年並みの売上となりました。

プラスチック事業の当第1四半期連結累計期間の業績は売上高 9,027 百万円(前年同四半期比 5.4%増)、セグメント利益(営業利益)は 378 百万円(前年同四半期比 58.6%増)となりました。

<産業資材事業>

ウレタンは、包装用・寝具用などが好調に推移したことに加え、車輛用も順調に推移し前年売上を上回りました。

断熱資材は、ボード製品が、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動による住宅市場の低迷を受け苦戦し、スチレン製品も建材用で前年売上を下回りました。パネル製品は農畜産向けに拡販が図れ、システム製品も伸長したことにより、断熱資材全体で前年売上を上回りました。

静電気対策品は、スマートフォン向け需要増と海外での伸長が図れ、前年売上を上回りました。

産業資材事業の当第1四半期連結累計期間の業績は売上高6,811百万円(前年同四半期比7.9%増)、セグメント利益(営業利益)は317百万円(前年同四半期比5.1%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の財政状態は、総資産は73,957百万円で前連結会計年度末に比較して2,447百万円減少しました。

資産の部では、流動資産は48,169百万円となり前連結会計年度末に比較して2,066百万円減少しました。これは主に、たな卸資産が1,601百万円増加しましたが、受取手形及び売掛金が3,573百万円減少したことによります。固定資産は25,788百万円となり前連結会計年度末に比較して381百万円減少しました。これは主に、有形固定資産が72百万円、投資その他の資産が270百万円減少したことによります。

負債の部では、流動負債は24,242百万円となり前連結会計年度末に比較して1,045百万円減少しました。これは主に、支払手形及び買掛金が486百万円、その他流動負債が413百万円減少したことによります。固定負債は9,431百万円となり前連結会計年度末に比較して393百万円増加しました。これは主に、退職給付に係る負債が410百万円増加したことによります。

純資産の部は40,283百万円となり、前連結会計年度末に比較して1,795百万円減少しました。これは主に、利益剰余金が1,653百万円、為替換算調整勘定が204百万円減少したことによります。以上の結果、自己資本比率は54.5%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期の連結業績予想につきましては、平成26年5月9日公表の業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計方針の変更）

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の決定方法を割引率決定の基礎となる債券の期間について従業員の平均残存勤務期間に近似した年数を基礎に決定する方法から退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更いたしました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第1四半期連結会計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間の期首の退職給付に係る負債が1,812百万円増加し、利益剰余金が1,198百万円減少しております。また、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ15百万円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,018	7,967
受取手形及び売掛金	28,453	24,879
商品及び製品	8,393	9,779
仕掛品	1,482	1,631
原材料及び貯蔵品	2,187	2,253
繰延税金資産	610	799
その他	1,160	924
貸倒引当金	△69	△65
流動資産合計	50,235	48,169
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,278	7,132
機械装置及び運搬具（純額）	4,671	4,419
土地	5,296	5,295
建設仮勘定	183	531
その他（純額）	410	390
有形固定資産合計	17,841	17,769
無形固定資産	715	676
投資その他の資産		
投資有価証券	3,658	3,836
退職給付に係る資産	980	—
繰延税金資産	2,605	3,029
その他	426	535
貸倒引当金	△58	△58
投資その他の資産合計	7,612	7,341
固定資産合計	26,169	25,788
資産合計	76,405	73,957

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,538	15,051
短期借入金	2,354	2,443
未払金	3,324	3,211
未払法人税等	279	158
その他	3,791	3,377
流動負債合計	25,288	24,242
固定負債		
長期借入金	3,000	3,000
長期末払金	20	9
繰延税金負債	520	513
退職給付に係る負債	5,236	5,647
資産除去債務	243	243
P C B廃棄物処理引当金	17	17
固定負債合計	9,038	9,431
負債合計	34,326	33,674
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,640	14,640
資本剰余金	10,708	10,708
利益剰余金	16,717	15,064
自己株式	△724	△724
株主資本合計	41,343	39,689
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	959	1,090
繰延ヘッジ損益	163	56
為替換算調整勘定	250	46
退職給付に係る調整累計額	△638	△599
その他の包括利益累計額合計	735	593
純資産合計	42,078	40,283
負債純資産合計	76,405	73,957

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	18,704	19,779
売上原価	14,934	15,997
売上総利益	3,769	3,782
販売費及び一般管理費	3,627	3,684
営業利益	141	97
営業外収益		
受取利息及び配当金	37	29
その他	184	102
営業外収益合計	221	131
営業外費用		
支払利息	15	17
その他	5	48
営業外費用合計	21	66
経常利益	341	163
特別利益		
固定資産売却益	33	0
保険差益	—	64
特別利益合計	33	64
特別損失		
固定資産除却損	2	23
特別損失合計	2	23
税金等調整前四半期純利益	372	204
法人税、住民税及び事業税	78	126
法人税等調整額	56	△22
法人税等合計	134	103
少数株主損益調整前四半期純利益	237	100
四半期純利益	237	100

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	237	100
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	63	130
繰延ヘッジ損益	△71	△107
為替換算調整勘定	390	△157
退職給付に係る調整額	—	38
持分法適用会社に対する持分相当額	74	△46
その他の包括利益合計	456	△141
四半期包括利益	694	△41
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	694	△41
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	シューズ 事業	プラスチック 事業	産業資材 事業	計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
売上高						
外部顧客への売上高	3,822	8,567	6,314	18,704	—	18,704
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	39	118	157	△157	—
計	3,822	8,607	6,432	18,862	△157	18,704
セグメント利益	87	238	334	661	△519	141

(注)1. セグメント利益の調整額△519百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用(一般管理費)であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	シューズ 事業	プラスチック 事業	産業資材 事業	計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
売上高						
外部顧客への売上高	3,941	9,027	6,811	19,779	—	19,779
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	49	129	179	△179	—
計	3,941	9,077	6,940	19,959	△179	19,779
セグメント利益	△37	378	317	658	△561	97

(注)1. セグメント利益の調整額△561百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用(一般管理費)であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。